

# 第12回泌尿器抗加齢医学研究会セミナー情報

## 2021年2月28日(日) セッション3 (12時25分~14時05分)

# 泌尿器低侵襲機能手術の最前線

座長 奥井 伸雄(神奈川歯科大学 客員教授)

12時25分	演者	Update Vaginal Erbium Laser™ Academy 2020 奥井 伸雄(神奈川歯科大学 客員教授)
12時50分	演者	次世代型高強度テスラ磁気刺激デバイス StarFormer™ による尿失禁及び痩身に対する治療経験 宮内 聡秀 (大分泌尿器科病院 院長)
13時15分	演者	尿失禁とOABに対するエルビウムレーザー治療 Yi-Hao Lin (Linkou Chang Gung Memorial Hospital)
13時40分	演者	OABに対する低強度対外衝撃波治療 Yung Shun Juan (Kaohsiung Medical University Department of Urology)

(敬称略)

共 催

第12回泌尿器抗加齢医学研究会

Fotona d.o.o. ・ハルテック株式会社・TMKメディカル株式会社

### 次世代型高強度テスラ磁気刺激デバイス StarFormer™による 尿失禁及び痩身に対する治療経験

医療法人圭成会 大分泌尿器科病院

宮内 聡秀

#### 抄録

尿失禁は男女問わず生活の QOL (quality of life) を大きく損ねる病態である。

尿失禁は腹圧性、切迫性、混合性に分けられるが、初期治療としては行動療法として生活指導、理学療法、膀胱訓練や薬物療法がまず選択される。これらの治療に抵抗性を示す場合は神経変調法 (neuromodulation) である干渉定数波を含む電気刺激療法、磁気刺激療法、仙骨神経電気刺激法 (sacral nerve stimulation: SNS)、後脛骨神経刺激療法やレーザー治療や手術療法が検討される。

磁気刺激療法は本邦では TMU-1100™が保険収載(磁気による膀胱等刺激法:70点)されており、腹圧性尿失禁における治癒率、有効率はそれぞれ 29-53%、86-94%、切迫性尿失禁ではそれぞれ 20-25%、50-85%と報告されている。侵襲もなく安全性と有用性は高いと考えるが、十分に普及しているとはいい難い。

当院は本年 2 月より FOTONA 社の StarFormer™ PRO を国内初導入した。高強度の磁気刺激 HITS (High Intensity Tesla magnetic Stimulation)  $^{\text{TM}}$ デバイスであり、1 回の治療は患者自身が耐えうる強さ 迄パワーを上げつつ  $20\sim25$  分座るのみである。衣類の着脱は不要で尿失禁、便失禁、産後・術後の骨盤 底筋リハビリテーション、骨盤臓器脱、勃起不全 (ED)、慢性前立腺炎、腰背部痛やフレイル、筋力低下 などに有用とされている。椅子の背面と座面に加え 2 つのハンドヘルド電磁パルスアプリケーターを搭載。鍛えたい筋肉を選択的に鍛えることができる最新の装置である。2 月現在、腹圧性尿失禁、過活動膀胱症例及び腹部周りが気になる症例に対して少数例であるが治療を開始。いずれも手応えを得ており、本学会時に治療経過を報告する予定である。

### 【演者プロフィール】



宮内 聡秀(みやうち としひで) 先生 医療法人圭成会 大分泌尿器科病院 院長 日本泌尿器科学会専門医

The Best Doctors in Japan 2020-2021

大分医科大学 (現大分大学) 医学部卒業後、九州大学医学部付属病院、独立行政法人別府医療センターでの経験をもとに、大分泌尿器科病院の勤務から昨年理事長に就任。

日々の診療、最先端の手術技術の研鑽に努める傍ら、日本泌尿器内視鏡学会やアジア泌尿器科学会などでのCVP エキスパートセミナーや PVP についての講演、医療業界誌への寄稿など、院外での活動にも注力。2018 年より、Fotona 社製 2波長マルチユースレーザー「Fotona SP Dynamis Pro」を泌尿器科医として国内で初導入し、これまでに腹圧性尿失禁や POP、OAB など多数の症例の治療を実施。さらに、2021年 Fotona社より新しく開発された次世代型 磁気尿失禁治療器「高強度テスラ磁気刺激 StarFormer™ PROを国内初導入、新たな低侵襲尿失禁治療に取り組んでいる。